

6 VC400gをセットアップする

本装置をインターネット装置として運用するために最小限必要となる環境を構築します。WindowsクライアントPC(WindowsXP以降が動作する環境)を用意してください。詳しくは、ユーザーズガイド(ソフトウェア編)の2章「システムのセットアップ」を参照してください。

- 1 WindowsクライアントPCを準備する

本サーバが提供するWebインタフェースによる初期導入設定を行う為、本サーバと同じネットワークのIPアドレス(例えば、192.168.250.1/255.255.255.0)を設定した WindowsクライアントPC(以下、クライアントPCと記述します)を用意してください。

メモ：本サーバの初期状態のネットワーク設定は以下の通りです。

LANポート番号	: eth0
IPアドレス	: 192.168.250.250
ネットワークマスク	: 255.255.255.0
ホスト名	: intersec.domain.local

- ハブ環境を介して接続する

ハブに本サーバとクライアントPCをそれぞれストレートケーブルで接続します。

- 2 **重要** 本サーバとクライアントPC以外の機器は接続しないでください。

- 本サーバに直結する

本サーバとクライアントPCをクロスケーブルで接続します。

- 2 クライアントPCと本サーバを起動する

本サーバとクライアントPCをLAN ケーブルで接続した後、電源を入れてください。本サーバの起動後、背面の「LINK」ランプが点灯しているか確認してください。起動後、クライアントPCのコマンドプロンプトからping コマンドなどを使用して通信状態を確認してください。

[実行例]
C:>ping 192.168.250.250(■)
(■)斜体部分は、本サーバのIPアドレスです。

本サーバと通信できない場合は、クライアントPCのネットワーク設定やLANケーブルの接続などを確認してください。

- 3 本サーバの初期導入設定ManagementConsoleに接続する

クライアントPCのInternet Explorerから以下のURLを指定して、本サーバの初期設定ManagementConsoleに接続してください。

http://192.168.250.250:50453/

正常に接続されると「Management Console」のログイン画面が表示されます。



ユーザ名、パスワード入力画面が表示されます。”ユーザ名(U)”、“パスワード(P)”に以下を入力して、[OK]をクリックしてください。管理PCから本装置にログインする際の管理者(admin)パスワードを設定する。

ユーザ名(U) : root

パスワード(P)：システム管理者パスワード(*)

システム管理者のパスワードは、「管理者用パスワード」に記載されている「出荷時の管理者用パスワード」を入力してください。

- 4 初期導入設定を実行する

- 1 初期導入を開始する

ログインが成功すると以下の画面が表示されます。[開始]を押下し、初期導入を実施します。作業を中断したい場合は、[中止]を押下してください。



- 2 システム管理者を設定する

ここでは、システム管理者に関する設定を行います。システム管理者のアカウントは“admin”(固定)です。システム管理者用のパスワードを「パスワード」「パスワード再入力」に入力して[次へ]をクリックしてください。システム管理者名のパスワードの指定は必須です。

メモ：システム管理者のアカウントは、セットアップ完了後、システム管理者ManagementConsole画面で変更できます。



- 3 ネットワーク情報を設定する

お客様の運用ネットワークに合わせたネットワーク情報の設定を行います。

「ホスト名(FQDN)」、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリネームサーバ」、「セカンダリネームサーバ」に設定内容を入力し、[次へ(N)]をクリックしてください。

項目名	設定内容
*ホスト名	本装置のFQDNを設定します
* IPアドレス	本装置のIPアドレスを設定します
*サブネットマスク	ネットワークマスクを設定します
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します
プライマリネームサーバ	プライマリネームサーバを設定します
セカンダリネームサーバ	セカンダリネームサーバを設定します

※ 項目名の先頭に、“*”があるものは必須入力です



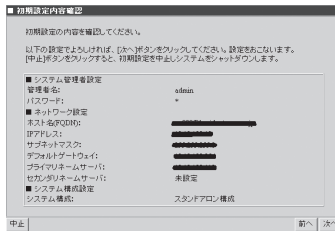
- 4 システム構成を設定する

本サーバのシステム構成に関する設定を行います。特に設定変更する項目はございませんのでそのまま[次へ]をクリックしてください。



- 5 初期導入設定内容を確認する

前項までの初期設定内容を表示します。設定内容に間違いがないか確認してください。表示した設定内容でよければ[次へ]をクリックしてください。設定内容を変更する場合は[前へ]をクリックしてください。



- 6 システムを再起動する

初期導入設定が完了すると、システムの再起動画面を表示します。続けてシステムの運用設定を行う場合は[システムを再起動する]をクリックしてください。システムを停止する場合は[システムを停止する]をクリックしてください。



7 アクティベーションコードを入手する

本製品でウイルス検索、フィルタリング、ブロックなどの機能やアップデート機能を利用するアクティベーションを実施するためには、「アクティベーションコード」を入手します。

アクティベーションコードはInterScan VirusWallのユーザー登録を行うと入手することができます。ユーザー登録は非常に大切な作業であり、InterScan VirusWallのユーザー登録を行うと、アクティベーションコードが提供されると共に、次のサービスを受けることができます。

- 1年間のウイルスパターンファイル等のアップデート
- 1年間のサポートサービス
- 製品の更新情報や新製品案内のご提供

ユーザー登録はインターネット経由での登録となります。ユーザー登録の方法は、基本ライセンスに添付されております使用許諾契約書に同梱されております冊子「トレンドマイクロ製品をお使いいただくために」に記載されています。冊子を参照してユーザー登録およびアクティベーションコードの取得を行ってください。

ユーザー登録の際に必要なとなりますレジストレーションキーは、基本ライセンスに添付されております使用許諾契約書に記載されております。ユーザー登録に関しましては、ユーザーズガイド(ハードウェア編)の1章およびソフトウェア編も併せてご確認ください。

- **重要** 本製品でウイルス検索、フィルタリング、ブロックなどの機能や、アップデート機能を利用するためにはアクティベーションの実施が必要です。

本製品のセットアップに先立ち、ユーザー登録およびアクティベーションコードの取得を実施してください。

ユーザー登録時に発行されるアクティベーションコードは非常に重要な情報です。確実に保管してください。

ユーザー登録するには、トレンドマイクロ社へのユーザー登録だけでなく、必ずWeb登録によってPPサポートサービスの登録およびサポート申し込みを行う必要があります。

8 InterScan VirusWallのアクティベーションをする

本製品でウイルス検索、フィルタリング、ブロックなどの機能や、アップデート機能を利用するためにアクティベーションを実施してください。

- 1 InterScanコンソールを開く。

InterScanコンソールを開くには次の2つの方法があります。

- Management Consoleからサービスのアイコンを選択し、[ウイルスチェック]をクリックする。
- Web ブラウザを起動し、InterScan マシンのIPアドレス：ポート番号(HTTP=9240、HTTPS=9241)のURLを入力する。

IPアドレスの部分は、InterScan マシンのドメイン名、IPアドレスのいずれでもかまいません。

【HTTPの例】

http://ドメイン名:9240
http://isvw.widget.com:9240
http://123.12.123.123:9240

【HTTPSの例】

https://ドメイン名:9241
https://isvw.widget.com:9241
https://123.12.123.123:9241

- 2 InterScanコンソールにログインするためのパスワードを入力する。

InterScanコンソールにはパスワードが設定されています。出荷時のパスワードは「admin」です。

- 3 [管理]→[製品ライセンス情報]を選択しアクティベーションコードを入力して[アクティベート]を実行する。

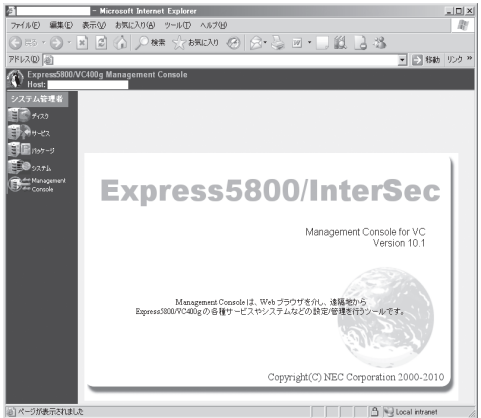
- 4 ウィルスパターンファイルのダウンロード設定などInterScanコンソールでの詳細設定をする。

詳しくはユーザーズガイドのソフトウェア編をご覧ください。



9 Management Consoleを使用したシステムの設定をする

システムのサービスに関する設定やシステムの基本設定は「Management Consoleを使用して変更することができます。Management Consoleへの接続方法や設定項目についてはユーザーズガイドのソフトウェア編、またはManagement Consoleのオンラインヘルプを参照してください。



10 ESMPRO/ServerAgentの設定をする

本体の状態を監視するソフトウェア「ESMPRO/ServerAgent」がインストール済みです。ファンやマザーボード、ハードディスクドライブ、本体の温度などを監視するこのソフトウェアの設定(しきい値やイベントの通報先)をします。

詳しくは、バックアップDVDにあるESMPRO/ServerAgentユーザーズガイドを参照してください。

<バックアップDVD>:/nec/doc/400/esmpro.sa/lnx_esm_users.pdf

接続に使用するクライアントマシンによっては罫線が文字化けすることがありますが、それぞれの機能は問題なく動作します。

11 管理コンピュータのセットアップをする

本装置をネットワーク上から管理・保守するソフトウェアを管理コンピュータにインストールします。ソフトウェアは、本体に添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに含まれています。管理コンピュータの光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」DVDをセットすると表示される「オートランで起動するメニュー」からそれぞれインストールすることができます。詳しくは「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されている「ESMPRO/ServerManagerインストールシナリオ」を参照してください。

以上で完了です。